

愛知学院大学歯学部倫理委員会

平成 31 年度第 5 回会議 次第

令和 2 年 1 月 30 日（木）15：00～

I. 報 告

1. 平成 31 年度第 4 回倫理委員会議事録（案）（令和元年 11 月 7 日）
2. 委員長決裁について（6 件）
3. 院内掲示用・病院 HP 掲載用告知文（案）について
4. その他

II. 協 議

1. 委員長決裁案件について（上記報告の 6 件）の承認
2. 新規申請の審査（4 件）
3. その他

歯学部倫理委員会 名簿

	氏名	所属等	委員区分(選出母体)	任期
	本田 雅規	口腔解剖学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	2019.4.1～2021.4.1
	池田 やよい	解剖学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
	長谷川 義明	微生物学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
◎	前田 初彦	口腔病理学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
	杉田 好彦	口腔病理学講座准教授	〃	2019.12.1～2021.4.1
	長尾 徹	顎顔面外科学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	2019.4.1～2021.4.1
○	武部 純	有床義歯学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
	野本周嗣	外科学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
	松原 達昭	内科学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
	田淵 雅子	歯科矯正学講座准教授	〃	2019.12.1～2021.4.1
	高木 敬一	法学部教授	規程第4条(3)倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者	2019.4.1～2021.4.1
	黒神 聰		〃	2019.4.1～2021.4.1
	柿田 憲広	金城学院大学非常勤講師	規程第4条(4)研究対象の観点を含めて一般の立場から意見を述べることのできる者	2019.4.1～2021.4.1
	鏡山 典子	愛知教育大学教育 学生・国際課 なんでも相談室	〃	2019.4.1～2021.4.1
顧問	鈴木 慎太郎	法学部教授		2019.4.1～2021.4.1

平成31年度 第5回歯学部倫理委員会
インターネット公表一覧

1	実施責任者	長尾 徹
	研究課題	顎変形症における位置的頭蓋変形症の発症に関わる分子病因の解明
	概要	顎矯正手術は顔面骨格における顔面表面形状を大きく改変するものであり、その目的は調和のとれた顔貌形態と咬合の獲得である。最新の当講座での研究により位置的頭蓋変形症と顔面非対称に表現型の全く異なる二つのタイプが存在することが示された。ほとんどは従来からの外的応力が原因と考えられるが、5%程度の症例に遺伝的要因が関連する可能性が推察されてきた。位置的頭蓋変形症には頭蓋骨縫合早期癒合症も含まれ、症候群の頭蓋骨縫合早期癒合症(グルーゾン症候群やアペール症候群など)では遺伝性を認めるものも多く、その原因遺伝子も明らかとなってきた。しかし、単純性の頭蓋骨縫合早期癒合症の遺伝的な原因は未だ明らかとなっておらず、本研究の推進がその一端を明らかとする可能性を秘めている。そこで今回、顎変形症患者の血液を採取し、遺伝子解析による疾患関連遺伝子の同定を試みることを計画した。
2	実施責任者	名和 弘幸
	研究課題	足底接地の有無が咀嚼および脳活動に及ぼす影響
	概要	公表不可
3	実施責任者	名和 弘幸
	研究課題	日本における医療的ケア児の実態調査(分担)
	概要	公表不可
4	実施責任者	富士谷 盛興
	研究課題	歯冠修復材料の歯質接着性に関する研究
	概要	超高齢社会を迎えた現在、健康寿命の延伸において歯を極力保存することは非常に重要な事である。したがって、この歯の保存という観点に立脚して、MIコンセプトに基づいた歯科医療を実施しなければならないが、その概念の中でも最小限の外科的侵襲による修復治療には接着修復処置が大きく寄与している。それに伴い、新たな歯冠修復材料(コンポジットレジン、接着前処理材、ボンディング材、セメント等)および窩洞形成法(レーザー機器など)等が続々と改良、開発され、これらを用いた治療法が盛んに行われている。そこで、それら有用性を従前と比較検討することは極めて重要であり、本研究では、得られた成果を包括的に評価することを目的とする。 また、本研究では、試料提供者より得られた抜去歯を用いて行う予定である。その個人情報の一部(年齢、性別、抜去理由および抜去年月日)を除いて全て匿名化し連結不可能とする。また研究に使用された抜去歯は全て医療廃棄処分する。すなわち、人の健康に関する様々な事象に影響を与える要因(健康の保持増進につながる行動、傷病の予防、診断や治療のための投薬・検査等)を関与する行為を行わないことから、侵襲および介入のない研究である。

平成31年度第5回歯学部倫理委員会議事録

日 時：令和2年1月30日（木） 15時00分

場 所：歯学部基礎教育研究棟 第1会議室

出席者：前田、長谷川、杉田、長尾、武部、松原、田淵、黒神、柿田、鏡山

欠席者：本田、松原、野本、高木、鈴木（顧問）

開 会：14時58分

始めに前田委員長より、今回より委員として参加することとなった杉田委員および田淵委員の紹介があった。

報 告

1. 平成31年度第4回倫理委員会議事録について

委員長から、資料に基づき報告があり、原案どおりこれを了承した。

2. 委員長決裁案件について

委員長から、研究等変更審査申請のあった1件、条件付き承認となっていた1件、修正の上承認となっていた3件、他機関の倫理委員会にて承認を得ており本学が実施分担機関として参画する研究計画1件について、申請書類等の回覧審査を行い委員長決裁による承認とした旨、報告があった。

3. 院内掲示用・病院掲示用告知文について

前回委員会にて任意様式では内容にばらつきがあるため、ひな形を作成したらどうかとの指摘のあった院内掲示用・病院HP用告知文（案）の作成を行った旨の報告が事務からあった。種々議論の結果、一部修正した上で当該告知文を承認することとした。

4. その他

なし

議 題

1. 委員長決裁案件について

委員長から提議され、研究等変更審査申請のあった1件、条件付き承認となっていた1件、修正の上承認となっていた3件、他機関の倫理委員会にて承認を得ており本学が実施分担機関として参画する研究計画1件について委員長決裁で承認したい旨、説明があり、これを承認した。

2. 倫理審査について

委員長から提議され、新規4件の申請があり、申請者から研究の概要及び実施計画等の説明を受け判定したい旨述べられ、これを了承した。

次いで、申請者から資料に基づき説明があり、研究実施計画等について質疑応答があり、それぞれの申請課題について判定を行い、全会一致をもって次のとおり決定した。

修正の上承認2件、非該当1件、保留（継続審議）1件とした。

3. その他

・委員会名簿について

委員から定義され、今回より2名の委員が加わったことを踏まえ、当該2名を加えた委員会名簿を次回委員会にて配付することとした。

次回委員会について

日時：令和2年3月26日（木）15時

場所：楠元キャンパス 1階 第1会議室

閉 会：16時25分